

北海道を直撃！ 4つの台風

8月17日に台風7号、21日に台風11号、23日に台風9号、そして30日に台風10号が北海道に上陸し、農業・交通網等に甚大な被害を与えました。なかでも十勝には3つの台風が直撃し、十勝総合振興局では、被害額が9百億円を超えると発表しました。振興局のまとめでは、8月の台風被害による河川や道路、橋など土木施設の被害が国や市町村を除いた道のみだけで5百50億円、十勝経済を支える農業が3百億円、林業で10億円、商業や観光施設の被害で24億円に上ることがわかりました。この他水産業、水道や廃棄物の施設など環境生活に関わる被害も加えた全体の被害額は9百4億円と甚大な災害だったことを改めて裏付けることとなりました。

民間企業では9月上旬、十勝に生産拠点を置くカルビーはポテトチップスの発売延期を決定し、キューピーもトウモロコシや大豆を使った缶詰・袋詰商品14品目の製造休止を発表しました。

収穫時期である馬鈴薯は、ハーベスターが畑に入れられない状況で、水に浸かった馬鈴薯が腐る前にと、農業ボランティアを募り手作業で掘り起こす農家が十勝管内でいくつもありました。

輪作を行っている十勝農業は、7月までの天候不順に台風被害も重なって、馬鈴薯の収穫が遅れた畑で秋播き小麦の播種ができない状況が続きました。一定期間低温で生育させないと穂が出ない秋播き小麦は、来年の収穫量に影響を及ぼす事となり、被害は今年の収量だけに留まりそうにありません。

土砂災害による交通網も大きな影響を受けています。JRでは特急スーパーおおぞら・特急スーパーとかちの全便が当面、帯広・トマム間を代行バス、一部を臨時列車の運行で対応しており、年内の復旧を目指しています。

十勝に大きな爪痕を残していった今年の台風は、交通網の寸断による農作物の運送に当面の間、影響を与え続ける事が懸念されます。

年金友の会パークゴルフ大会

8月24日、年金友の会パークゴルフ大会が依田パークゴルフ場「俳句村コース」で開催され、27名の友の会会員が参加しました。

当日は爽やかな晴天に恵まれ、絶好のパークゴルフ日和となりました。高橋専務の挨拶で

始まった今年のパークゴルフ大会は全18ホールを回るコースで、ホールインワンが男性1名、女性1名出る熱戦でした。男性の部・女性の部ともに白熱したプレーが繰り広げられました。

パークゴルフの後は焼肉ガーデンへと場所を移し、和やかに懇親会が行われ、楽しいひと時を過ごす事ができました。



農村ホームステイ



昨年に引き続き、「農村ホームステイ」の秋の受入れが十勝管内の農家で行われ、9月20～21日に大阪府立刀根山高等学校の2年生が、28～29日に大阪府立吹田東高等学校の2年生が、10月12～13日に大阪府立阪南高等学校の2年生が十勝農業の生産現場を体験しました。

「農村ホームステイ」事業は修学旅行生に農村での生活を体験してもらい、生産現場や十勝の一次産業に興味を持ってもらう事、食の大切さや農業と日常生活のつながりを学ぶ事を目的として幕別町では「まくべつ稔りの里」が主催で平成24年度から行われています。

札内地区では刀根山高等学校の1クラス38名のうち6名が2戸で、吹田東高等学校の1クラス40名のうち7名が2戸で、阪南高等学校の1クラス37名のうち6名が2戸で受け入れられました。

酪農を体験した学生は子牛の哺乳、牛舎の見学、早朝の搾乳等を、畑作を体験した学生は馬鈴薯の収穫や箱詰め、圃場の見学等を行いました。また、十勝ヒルズ、エコロジーパーク、札内ガーデン温泉といった観光地にも足を運び、都会では経験することの出来ない十勝ならではの2日間を送りました。

退村式では「食べ物の有難みと、農家さんの苦勞を知る事ができ、充実したホームステイになりました。」と生徒代表からの挨拶がありました。一泊二日の短い間でしたが、組合員の方々の暖かさに触れ、バスの窓から涙を流して手を振る生徒もいました。

第39回まくべつ産業まつり 野菜即売会



10月2日、幕別町百年記念ホール前広場にて第39回まくべつ産業まつりが幕別町観光物産協会主催で開催されました。幕別町の秋の一大イベントであり、多くの来場者で賑わいをみせていました。

J Aさつないは昨年同様、J A幕別町との合同出店で旬の野菜を販売する野菜即売会を行いました。メイクイン、とうや、たまねぎ、長ネギ、かぼちゃ、キャベツ、ハクサイ、ダイコン、ニンジン、そば粉など、季節を代表する野菜が販売されました。毎年野菜即売会を心待ちにしているお客様が多く、販売開始前から店頭には長蛇の列ができていました。10

時の販売開始の合図と同時に次々と野菜は売れ、1時間程で商品は完売となりました。「毎年野菜即売会を楽しみにして、産業まつりに来ています。」と両手いっぱい袋を下げているお客様や、遠方の友人に美味しい野菜を届けようと、地方発送を利用するお客様が大勢いました。

ステージでは、ものまねショーや歌謡ショー、かぼちゃ投げ大会といったイベントも盛り沢山で終始活気溢れる産業まつりとなりました。



NHK帯広開局 80 年記念 P R 撮影



11月で開局80年を迎えるNHK帯広放送局では、「牧草ロール de どーもくん」企画を十勝地方15町村17軒の農協青年部の皆様の協力を得て、開始しました。

取組み内容は「牧草ロール」にNHKキャラクター「どーもくん」のステッカーを貼りつけ、開局80周年をPRします。

札内では新生地区の牧場で展示されています。2段に積まれた牧草ロールの上段に「どーもくん」のイラスト、「開局80周年」のイラストを貼りつけて、通行する車から見る事ができる様に道路沿いに並んでいます。

平成28年10月1～16日が集中展示期間でしたが、期間終了後でも設置している場合があり、新生地区では3月頃まで展示しているのので、豊岡・稲士別線を通る際は是非ご覧ください。

AED取扱説明会

10月19日、当農協に設置されているAED（自動体外式除細動器）の耐用年数経過による交換に伴い、AEDの使い方・胸骨圧迫方法の講習が2階会議室で行われました。

AEDは意識と呼吸が無い状態の心臓に対し電気ショックを与える医療機器で、音声ガイドンスによって簡単に使用する事ができます。AEDの使用法と同時に胸骨圧迫の方法も学び、救急隊に引き継ぐまでの一連の流れを確認しました。

現在、空港、駅、スポーツクラブ、学校、公共施設、企業等の人が多く集まる所を中心にAEDは設置されており、一般市民の方が使用した事例も多々ある事から、AEDの必要性について再認識した説明会でした。



青年部 幕別町立学校食育推進事業

10月21日、幕別町教育委員会の主催で実施されている食育推進事業が当農協青年部の協力により行われました。今年は札内南小学校3年生3クラス約110名で実施され、途別のビート圃場で収穫とトラクターの試乗、ビニールハウス内で授業が行われました。

ビートの収穫では、生徒達は大きなビートを探して、スコップ片手に無我夢中で作業に没

頭していました。1人で引き抜けない時は友達と一緒に協力して引き抜く姿もありました。トラクターの試乗では、シートに座った生徒の隣で青年部員がトラクターについての説明をしました。また、ハウスでの授業はビートに関する授業を行い、〇×クイズ、農業機械当てクイズ等を行い、ビートが出来るまでの流れについて学びました。

昨年は2校合同開催で行ったところを、今年は1校ずつの実施とし、内容の濃い食育事業を展開することができました。なお、後半の食育事業として、11月14日に札内北小学校の3年生が牧場体験を実施する予定です。

